

ITコーディネータ協会の活動方向と ITコーディネータへの期待

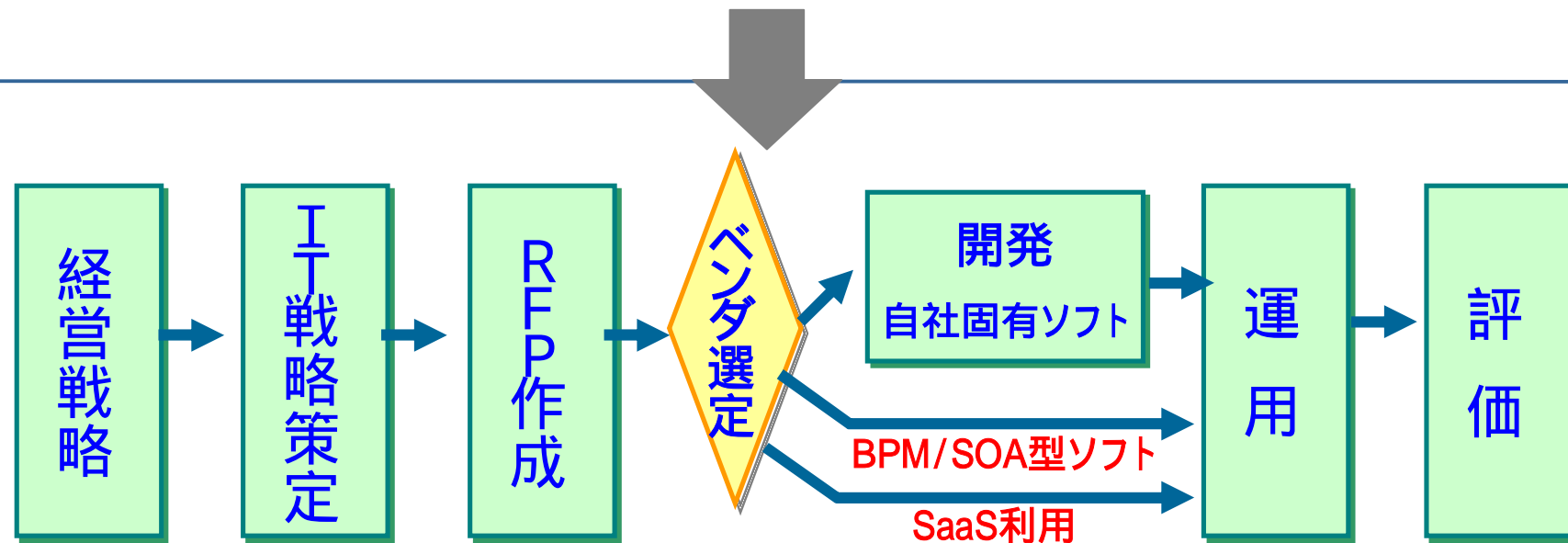
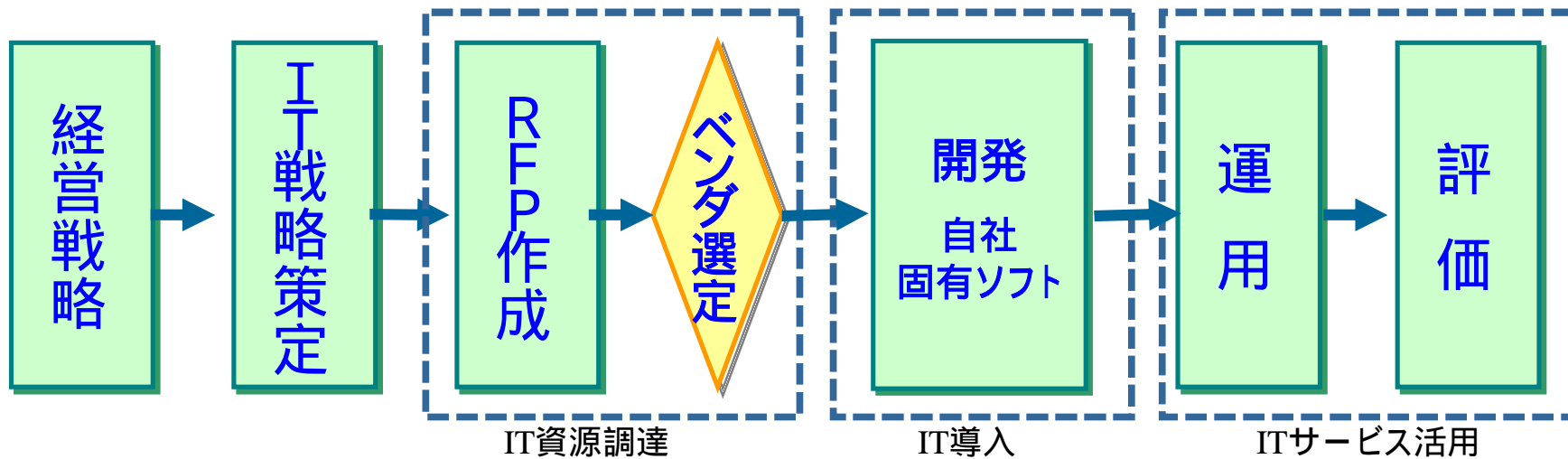
2009年5月28日

特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会 会長

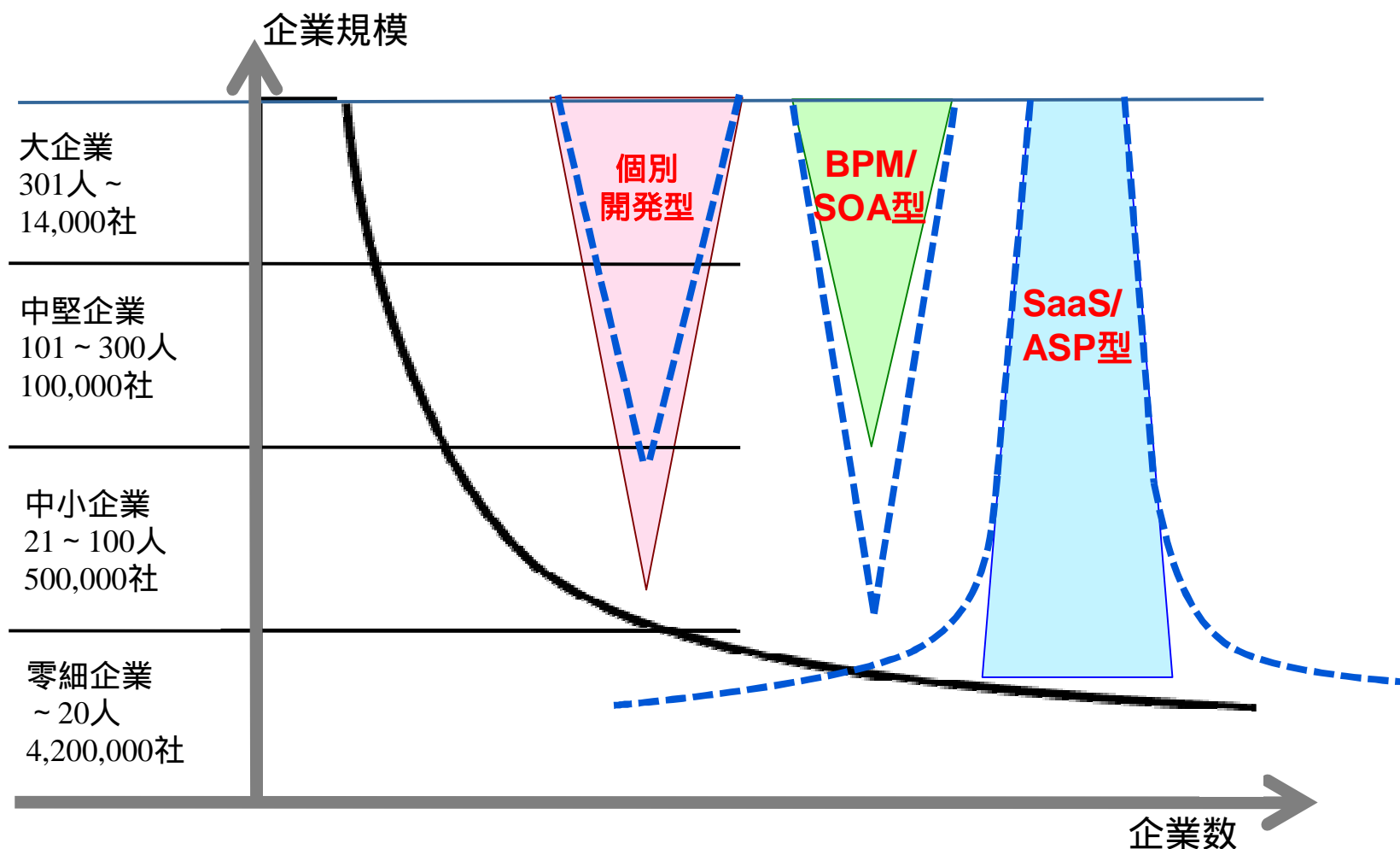
関 隆明

1. 最近のIT化トレンド
2. ITC協会の活動方向と
皆様への期待

1-1: システム開発プロセスの多様化



1-2: 個別開発、SOA型、SaaSの適用領域



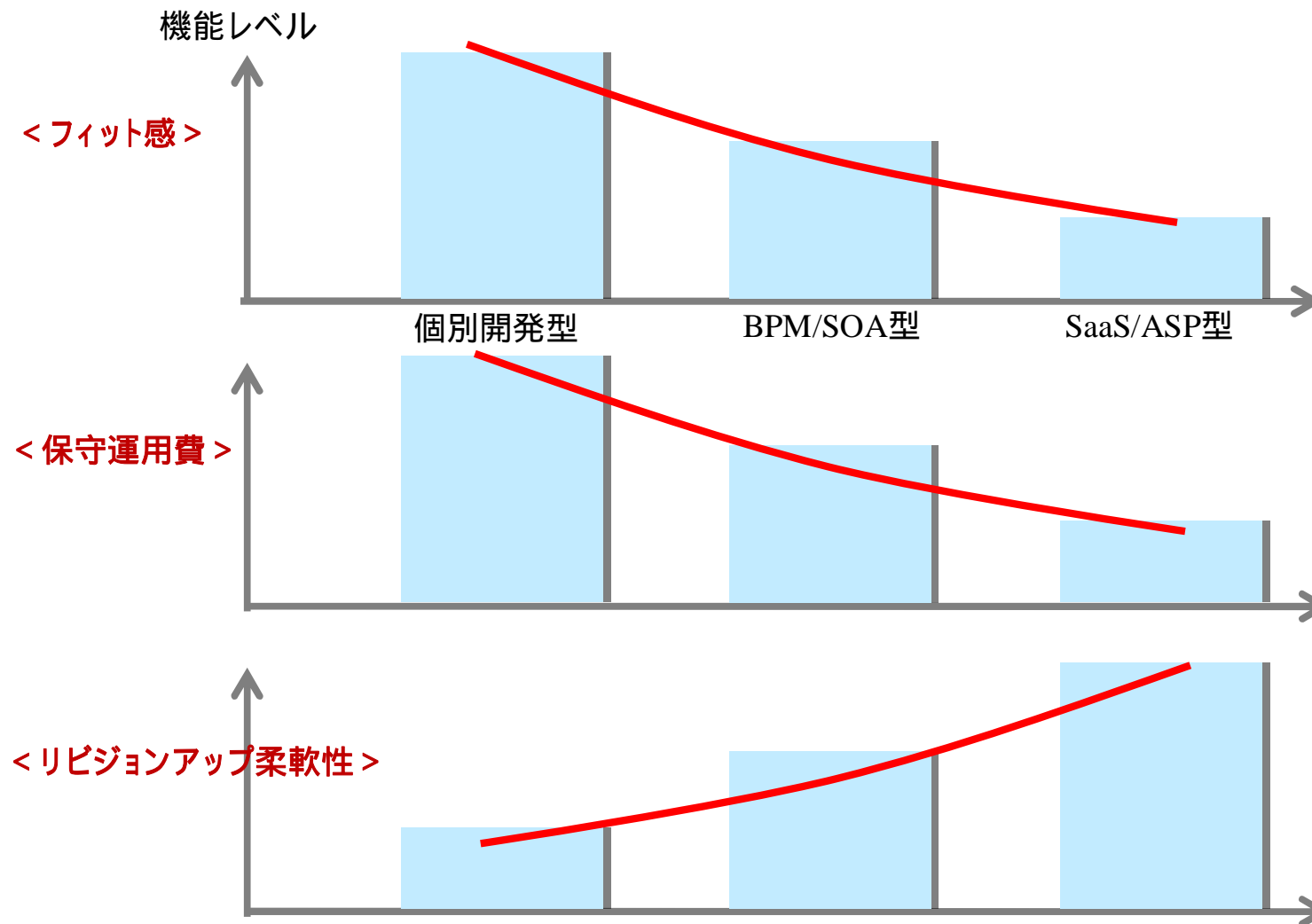
今後の動向予測:

SaaSは、サービスの充実に伴い、中小・零細に爆発的に普及する可能性あり。

BPM/SOA型システム構築は、ベンダーの経験に伴い、中小向けにSaaSユーザからの移行含め、導入範囲が浸透

1-3: 構築の多様化・比較

～ 個別開発型、SOA型、SaaS型の比較イメージ ～



1-4: SaaS 鳥瞰図

出典: 坂下知司; SaaS研究会2009

高度APIを持つSaaS

SFA機軸のプラットフォーム
カスタマイズ容易
・表現形式など変更容易
・データ項目追加

AP連携
・統一データベース
・AppExch経由AP連携
・Google連携実現

アプリケーション
・Salesforce.com(SFA)
・人事
・セールス
・マーケティング
・業種別AP など
ただし、有名業務ソフトなし

個別業務APの提供 (AP間連携も視野)

- ・nsepres(アプリ基盤)
- ・ネットde会計(会計)
- ・Dentalフレンド ASP(歯科)
- ・Property(不動産)
- ・@Label(ラベル印刷)
- ・ちゃっかりS@KE(酒業)
- ・WebCon(WebEDI)
- ・e-Smarttrack(配・送車)
- ・ワイズマンASP(医療介護)

などASP主流

個別業務APの提供 (主に小企業向け)

- ・勘定奉行
- ・弥生
- ・ミロク情報
- ・ソリマチ
- ・TKC
- ・豆蔵
- ・ビズソフト
- ・タイガー

など会計ソフト中心

プラットフォームの直接提供

- ・企業内SaaS
(含む中小企業向け)
- ・企業間共同サーバ
- ・任意のAP稼動
- ・個別開発ソフト稼動
- ・ソフト開発用サーバ

高度APIを持つSaaS

検索エンジン/コンシューマ意識
GoogleMapに特徴
ユーティリティ・サービス提供
・グループウェア
・メール
・ドキュメント共有
・ブロッガー

サービス間連携
・AJAX、MapAPI経由

基本は無償サービス
・広告収入モデル
・圧倒的な利用者規模

国産パッケージのサービス化 (AP間連携を重視)

- ・SI Web Shopping
- ・GRANDIT(ERP)
- ・弥生会計 など

個別業務APの提供 (AP間連携も視野)

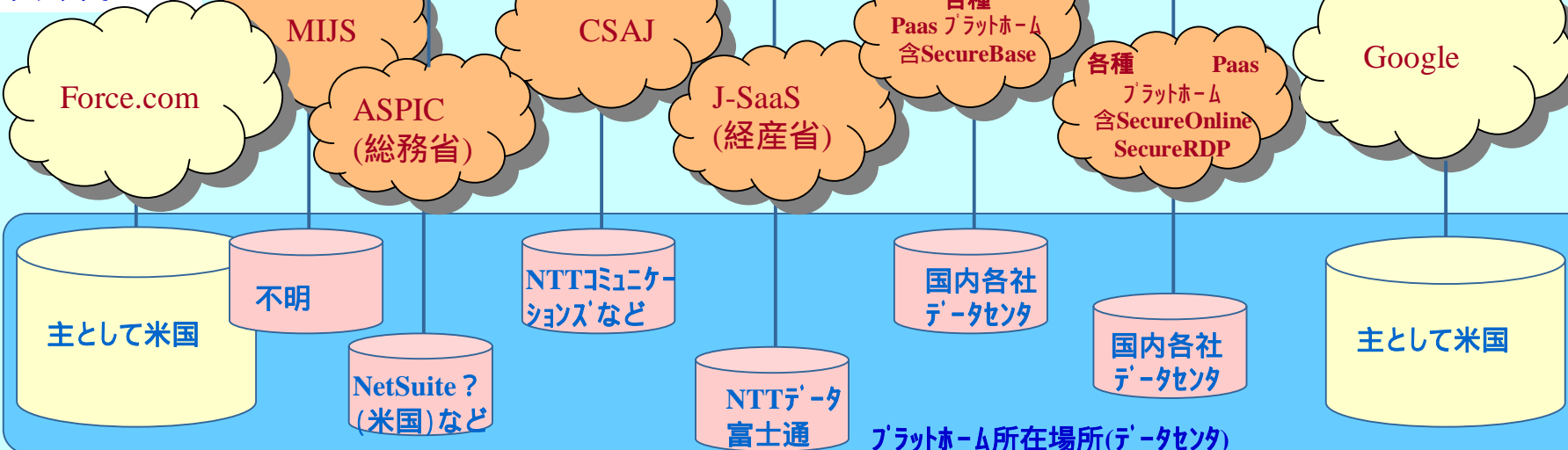
- ・サイボーズ(G/W)
- ・駅すばあと(旅費)
- ・弥生会計(財務・会計)
- ・ネットde会計(会計)
- ・奉行シリーズ(人事給与等)
- ・大蔵大臣(財務・会計)
- ・PCA会計(財務会計)
- ・BizBase(G/W,SFA)

など多様な対応

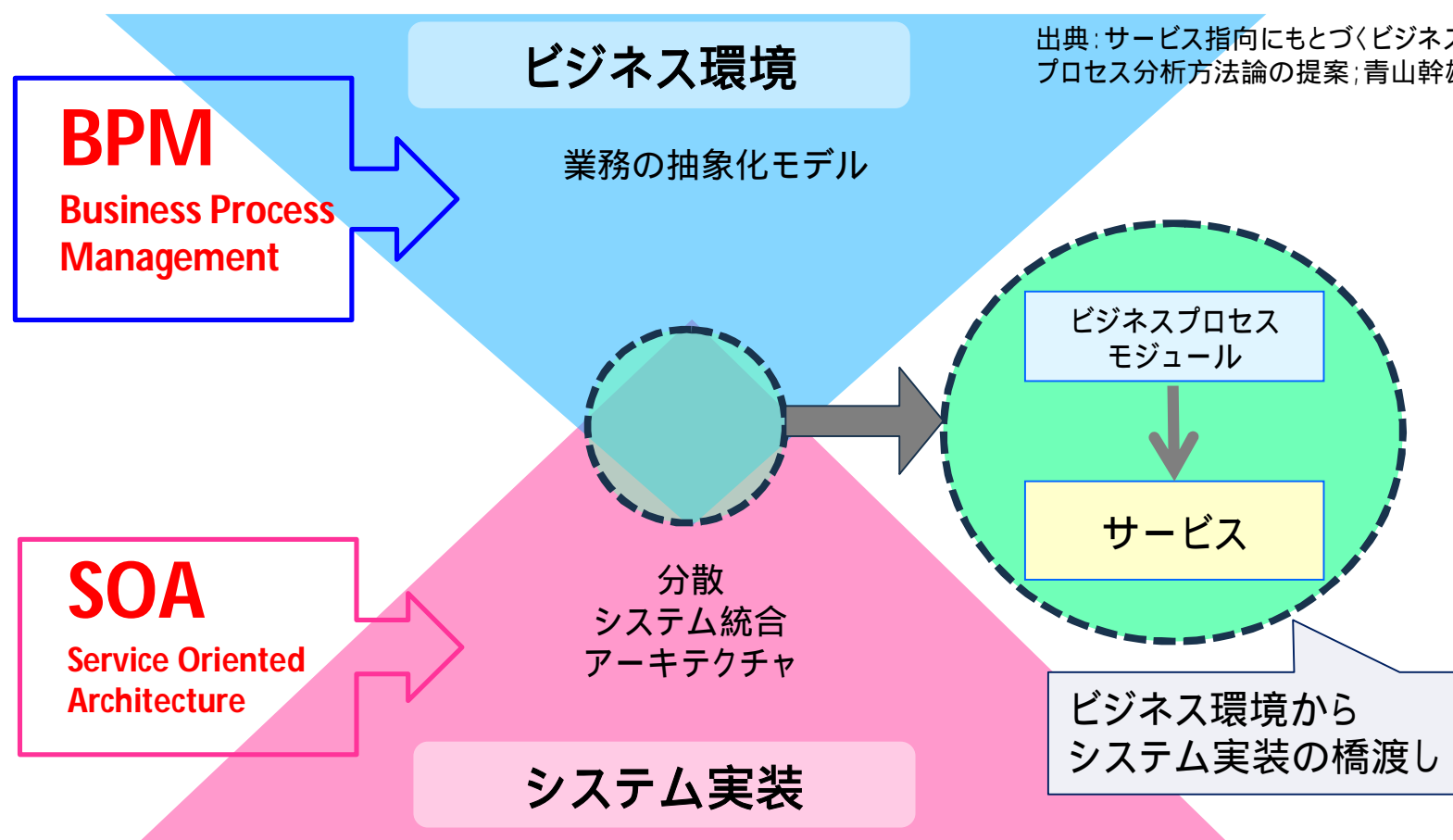
AP事業社のサービス提供 (パッケージベンダの転身)

- ・PCA会計・仕入・販売
- ・ソリト情報漏洩監視 等
- ・歯科医・クリニックシステム
- ・司法書士システム
- ・新聞販売店システム など

プラットフォーム



1-5: ビジネス環境とシステム実装の対応



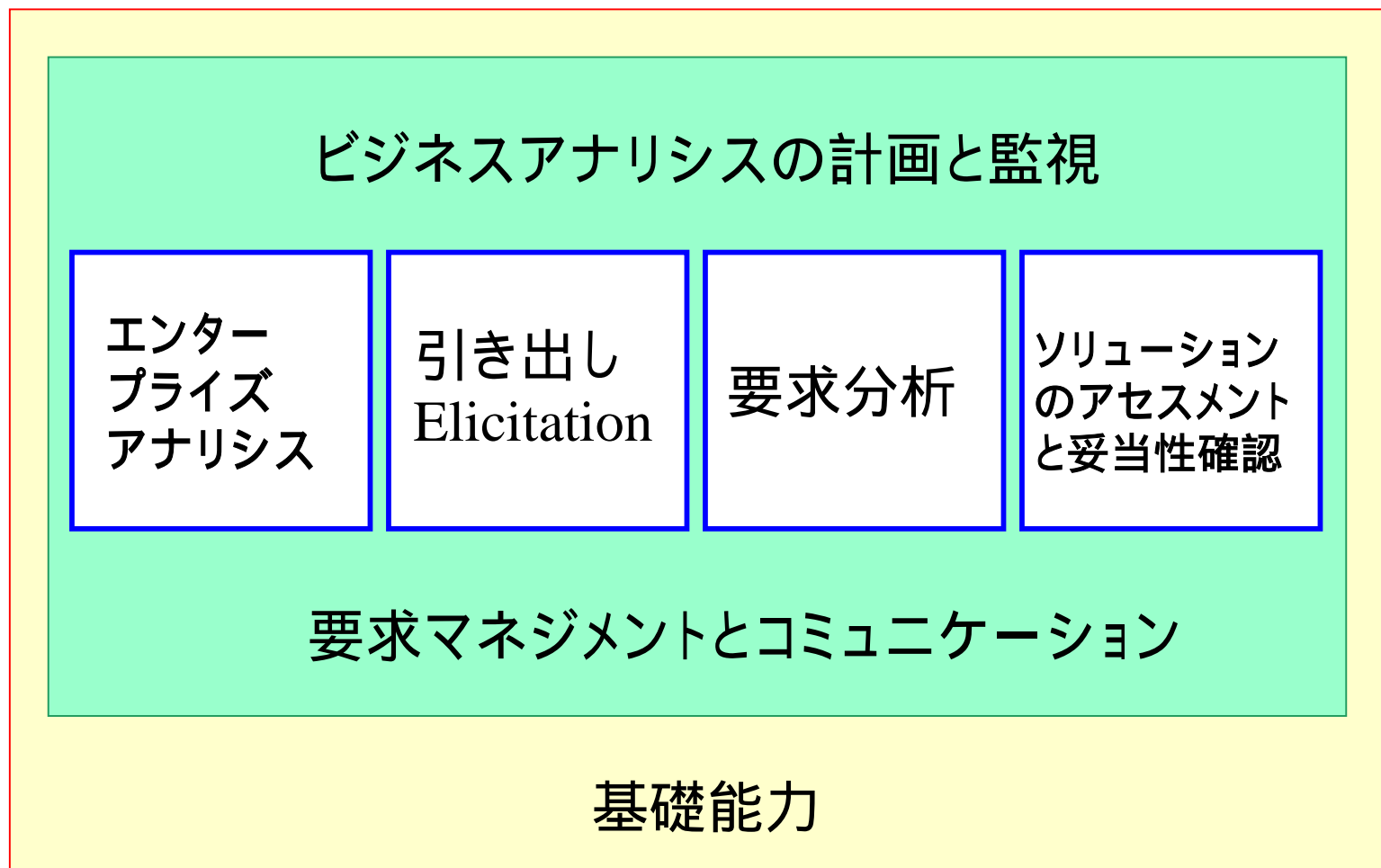
BPM: 経営目標を実現させるビジネスプロセスを迅速に設計し、その改善サイクルを継続的に進める新しい経営手法

SOA: サービスをソフトウェアの集合として連携させることで、システムの迅速性、柔軟性を実現する技術基盤

1-6: Business Analysis of Body of Knowledge (BABOK)



BABOKの7つの知識エリア

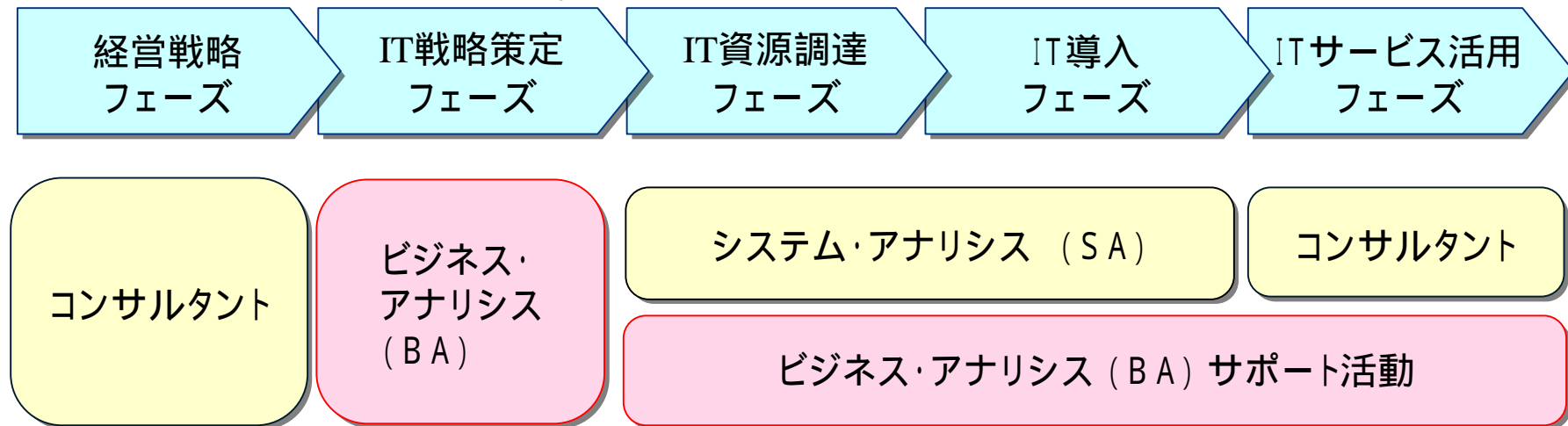


出典: BABOK V2.0 Draft for Public Review
IIBA-Japan · ITC 小林正和による (2009/1)

1-7: PGL上でのBABOKの位置付け

ITコーディネータ (ITC)

経営者の立場に立って経営とITを橋渡しし、真に経営に役立つIT投資を推進・支援する(プロジェクト・マネジメント、コミュニケーション、活動のモニタリング&コントロールを含む) プロフェッショナルである。



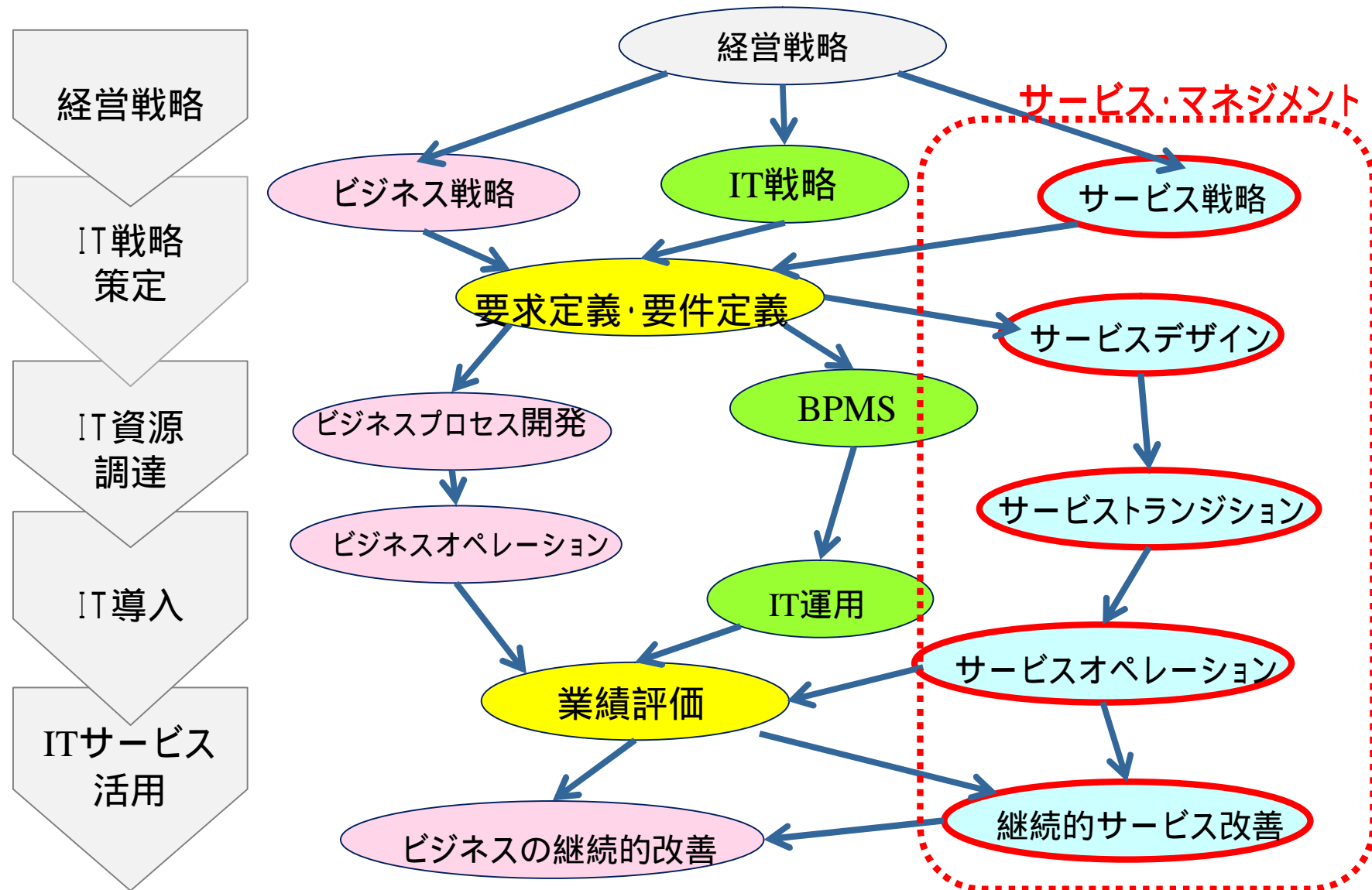
BAの主な活動

ビジネス上の問題を提起する
根本の原因を特定する
解決策のビジョンとスコープを特定する
将来の状態をモデリングする
システム要件を定義する

BAとは、
可視化とコミュニケーション
を通じて業務プロセス改善
と情報整理に必要なITシステム
を企画する。

出典: 小林正和、FXLI 2008

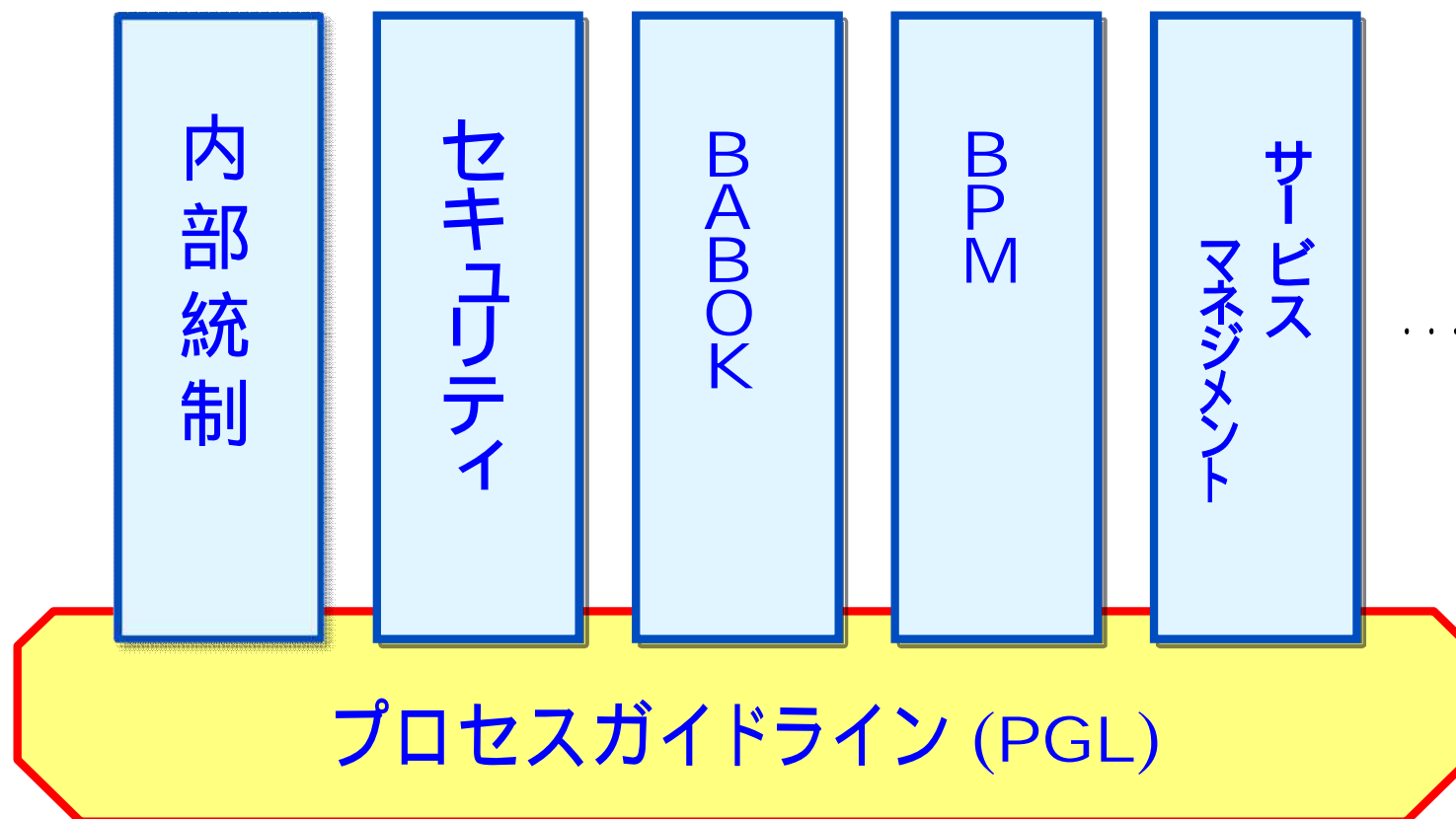
1-8: PGLとITILの関係付け



清水慶三郎 (ITIL Specialist) による, 2009

1-9: 必要関連ノウハウ、知識

PGLを基盤に必要関連ノウハウ、知識の充実



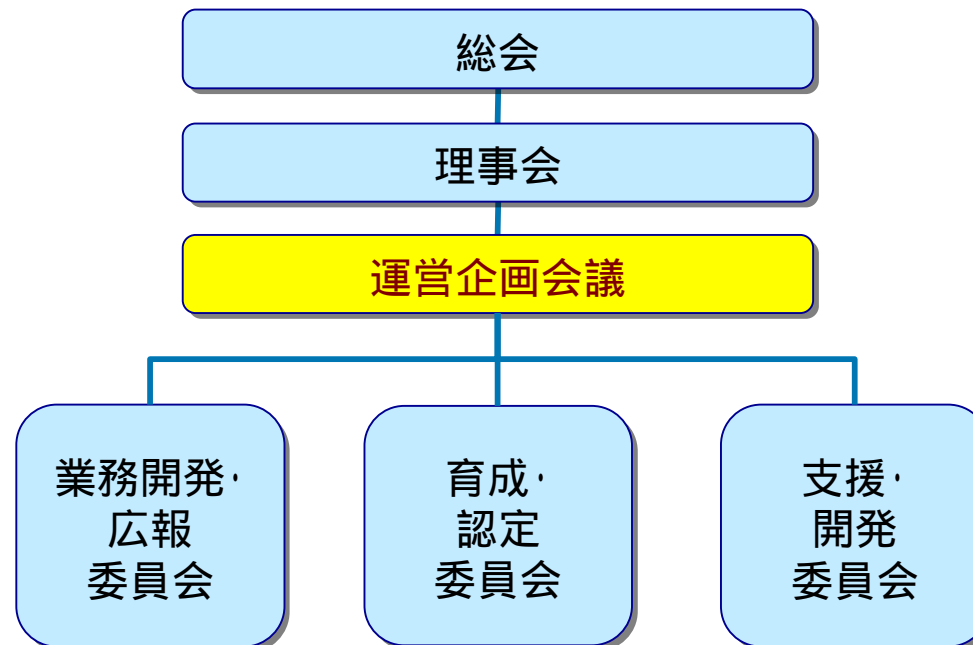
1. 最近のIT化の動向
2. ITC協会の活動方向と
皆様への期待

2-1: 協会の活動: 組織体制



運営企画会議（執行決議機関）の始動

- 新たな執行決議機関の設置：議長は協会会長
- 3委員会を串刺しした執行上の決定権のある会議
- 即効性のある”カンフル剤” 実践の提案
- 中長期的視点に立ったITC資格制度の見直し、協会の役割と体制等の本質的検討の指摘



1. ITCのブランディング活動

- ・ 主要メディアへの露出度の向上
- ・ Webマーケティングの実施
- ・ 連携チャネルへの広報活動の強化：
政府機関、公的機関、金融機関団体、商工三団体、ITベンダ団体等

2. ITCビジネスの支援強化

- ・ 連携チャネルとの関係強化
- ・ 経済産業省、中小企業庁等諸官庁の施策に関する情報収集力の強化と連携活動の促進
 - 例) 地域イノベーションパートナーシップ
 - 地域力連携拠点事業
 - J-SaaSの実用化促進

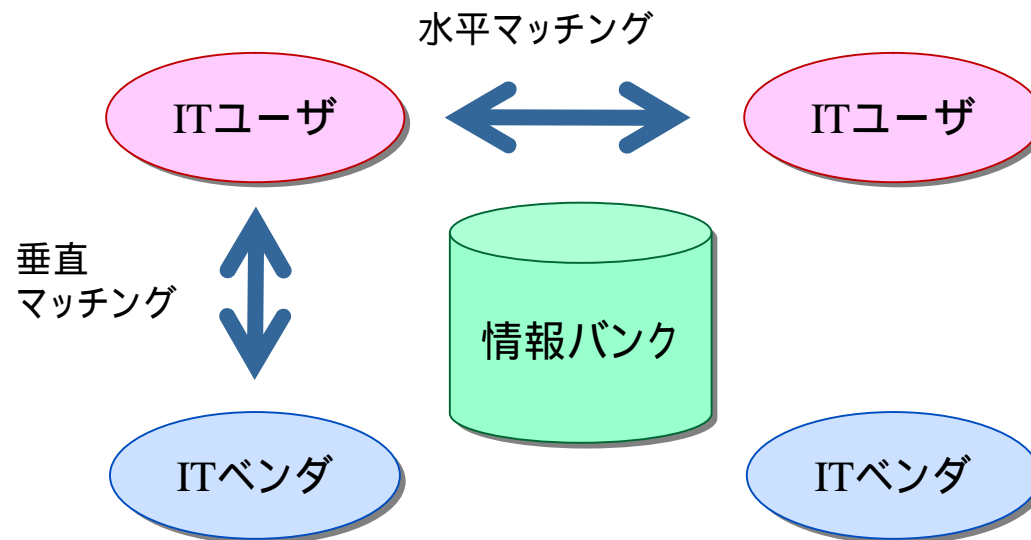
3. ITC届出組織との連携推進

- ・ 協会からの届出組織への施策提案力の強化と地域特性を踏まえたビジネス活動への支援

2-3: 地域イノベーションパートナーシップ



1. 地域のITベンダが連携して供給力を高めるためのユーザを含めたITクラスタか、地域連携を推進
2. IT経営応援隊によるユーザ視点に加えて、ユーザとITベンダとのビジネスマッチング、さらにITベンダ間連携を支援。
3. アワード：IT導入による戦略的経営を推進した企業表彰
 - ITユーザ、ITベンダ、ITコーディネータ、先進的システム



2-4: J-SaaSの活用



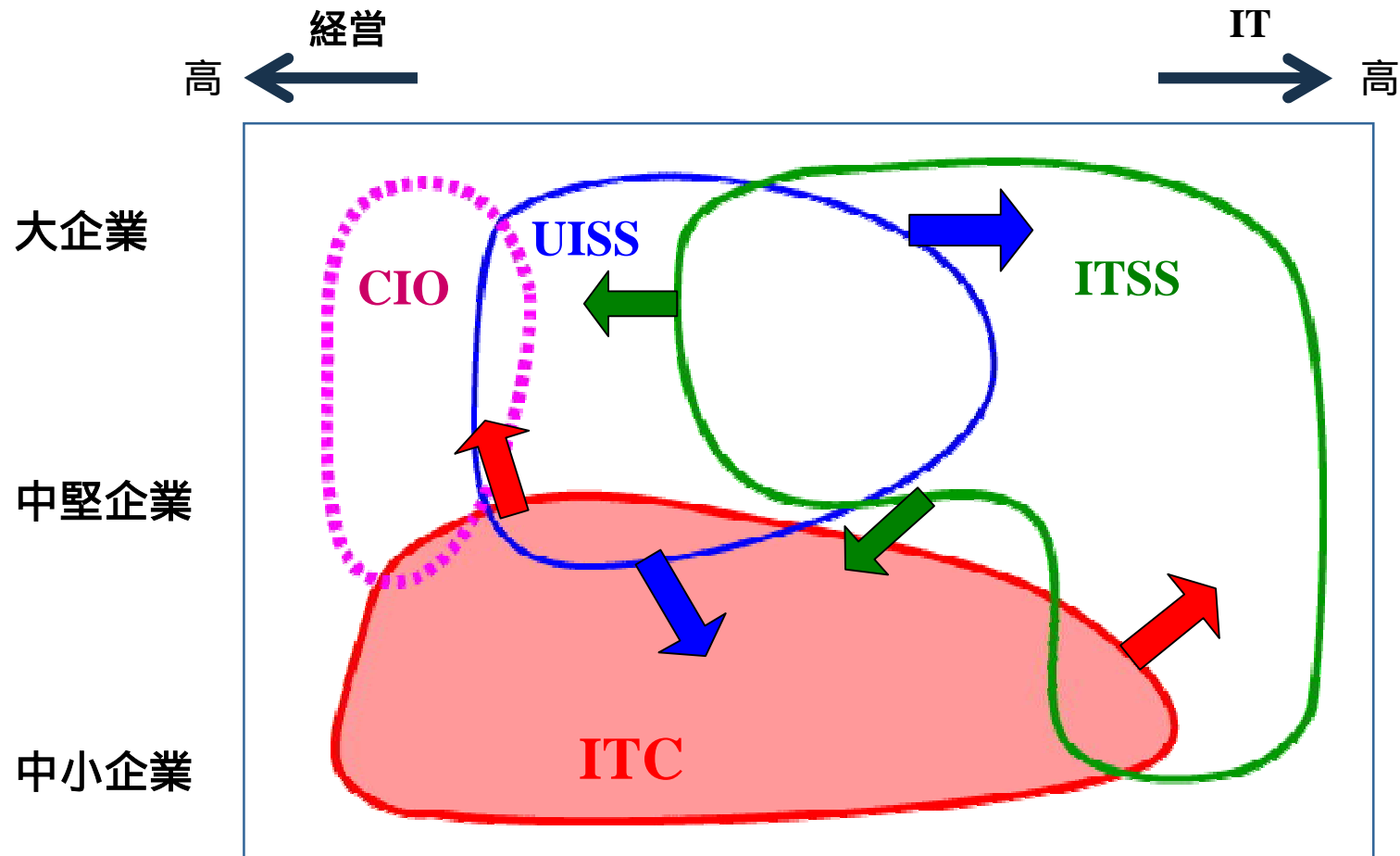
1. 経済産業省が、中小企業、特に小規模零細企業向けに SaaS商用サービスを2009/3末から開始
2. 主なアプリケーション：
 - 会計中心で、販売、人事、グループウェア等
 - （複数アプリケーションが連携するMash-upの仕組み不明）
3. J-SaaS研修受講者：12,000人余
4. SLA:
 - 24時間365日、稼働率：99.6%、サポート時間：9:00～17:00
 - 毎日差分バックアップ、ISMS認証、Pマーク
 - セキュリティ：年1会第三者評価
5. 2011年度以降のサービス継続
 - サービス委託先のNTTデータ / 富士通の対応次第

2-5: 協会の活動: 育成・認定委員会



1. ITC人材像：スキル体系の確定と訴求
 - ・ 経済産業省、IPA、JUAS、JISA等への理解促進
2. ITCの実践力を高めるための育成の強化
 - ・ 協会主催研修カリキュラムの全面改訂と実践力強化研修の展開
3. 企業内ITCの活性化支援
 - ・ ITベンダ内営業部門でのITCの育成活用促進
 - ・ ユーザ企業等へのITCプロセスの普及
4. ITC資格取得を推進する施策の検討
 - ・ ITC試験を受験し易い環境の整備

2-6: ITSS、UISSとの関係



JUAS (青色) も JISA (緑色) もそれぞれの方向へ拡大していく。
ITC (赤色)も、拡大を狙わなければならない。

1. 協会にあるツール類の商品化

- 「営業職向け」教材への改訂とセミナー開発

2. ITC実務に役立つツール類の「見える化」と「活用支援」推進

- ・ ツール類のPDCAサイクルを確立し、商品価値を高める

3. 国の施策の流れを見据えた対応

- ・ ITベンダとユーザをつなぐツールの開発・提供
- ・ 農業向けツールの開発とセミナーの実施
- ・ SaaS / EDIを利用して行えるサービスモデルの検討

2-8: 重点検討テーマ推進体制の確立



1. ITベンダ営業職にフォーカスした緊急対策
2. 懇話会 (仮称): ITC協会副会長所属の諸機関との連携促進
 - 日本税理士会連合会
 - 中小企業診断協会
 - 商工組合中央金庫
 - 情報サービス産業協会 (JISA)
 - 全国地域情報産業団体連合会 (ANIA)
3. ITC人材像・スキル体系の再整理
 - ITCのコアコンピタンスのブラッシュアップ
4. 横断的ITC会議 (仮称)
 - 地域ITCと協会との双方向意見交換と課題解決策の追求

ご清聴ありがとうございました。